

# 「令和3年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 1 日

事業名稱	害虫駆除事業費 [アライグマ・ハクビシン 防除等事業]							
予算科目	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 6	環境衛生費	事業番号 1	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	環境対策(環境) 課			環境公告係	課長名	梶川 義夫		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	4 - 8		
【施策名】 環境の保全					総合計画書 (ページ)	99		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	市民			→ 人口 85,294(令和3年4月1日時点)				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] アライグマ・ハクビシンを捕獲し、市民の生活被害を減らしたい。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) アライグマ・ハクビシンに関する相談件数: 76件(令和4年3月31日時点)				
	③ そのために何をしましたか。 アライグマ・ハクビシンによる被害にあった市民に対し、捕獲器の貸出し(委託業者による設置)を行った。また、隣接している武藏村山市と連携し、芋窪地区を対象に「狭山丘陵における2市合同アライグマ・ハクビシン捕獲キャンペーン」を2回実施した。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 捕獲器貸出し件数: 70件(令和4年3月31日時点)				
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
	対象指標	①の数値		人	85,337	85,266	85,294	令和4年度目標
	成果指標	②の数値	件	74	75	76		
	目標	②の目標値	件	51	74	75	76	
	活動指標	③の数値	件	41	58	70		
経費	事業費(実績)		円	536,920	823,565	1,056,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	268,920	417,565	528,000		
		特定財源(国・都・他)	円	268,000	406,000	528,000		
		(うち受益者負担)	円	0	0	0		
	人件費	所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.4	0.4		
	(目安)	所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
	職員人件費(再任用以外)	円	3,324,000	3,352,000	3,300,000			
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	3,860,920	4,175,565	4,356,000			
環境変化等	(1) 開始年度	H29 年度						
	(2) 環境の変化	平成29年度より開始し、市民からの相談件数及び捕獲器の設置件数が増えてきている。事業開始当初に比べ、市民のアライグマ・ハクビシンに対する意識が高まっていると感じる。						

事業名称	害虫駆除事業費 [アライグマ・ハクビシン 防除等事業]			
担当部署・課長名	環境対策（環境）課	環境公害係	課長名	梶川 義夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・捕獲器の設置位置や効果的なエサの相談があった。 ・捕獲キャンペーンについて、設置の問合せが多くあった。			
	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
6 市民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法：⑥、⑦、⑧（設置場所が依頼者の敷地内で、依頼者による毎日の見回り、エサの補充を必要とするため、市民協働が不可欠） 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：自治会回覧）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
		(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 捕獲キャンペーンの対象地域を広げ、アライグマ・ハクビシン防除事業に対する意識を高めてもらう。		
	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート 7課題（3）を転記） 12台の捕獲器を遊ばせずに、いかに効率的に稼動させるかが課題。			
7 課題	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 キャンペーンを2回実施した。また、貸出期間の延長をし、捕獲器を効率的に稼働させた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） キャンペーンの対象地域を広げ、アライグマ・ハクビシン防除事業に対する意識を高める必要がある。また、捕獲器を効率よく稼働させ、捕獲件数を増やすことが課題。			
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名：環境の保全 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 武蔵村山市だけではなく、東村山市など隣接する自治体との連携を増やすことを検討する。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 隣接する自治体の協力が必要。また、キャンペーン実施における市民への周知が必要。			